

令和4年度 交通安全教室開催結果

令和4年4月1日～令和5年3月31日 実施分



一般社団法人

長野県自動車販売店協会

1 令和4年度の実施内容



(1) 保育園・幼稚園 対象

【屋外での交通安全教室】

ア 歩行訓練

道路の正しい歩き方指導(園庭模擬道路を使用)

イ 衝突実験

低速で走る自動車と、道路に飛び出したダミー人形を衝突させる実験

ウ 死角検証実験

自動車を使用して、車の運転席からは見えない場所があることを体験する死角検証実験

エ チャイルドシート効果実験

ダミー人形を乗用車後部座席に設置したチャイルドシートに座らせ、時速10km程度で急ブレーキをかけた場合のチャイルドシート使用時と不使用時を比較する検証実験



死角検証実験

【屋内での交通安全教室】

ア 腹話術

交通ルール、チャイルドシートの必要性、車の乗り降り、送迎時の危険性等

イ パネルシアター、エプロンシアター

交通ルール等

ウ 着ぐるみを使用した寸劇

交通ルール、着ぐるみによる交通安全の啓発

エ チャイルドシートの実験

人形を使って、室内において可能な、チャイルドシート使用時と不使用時の比較実験

オ 体操、手遊び

左右を覚える(手を挙げて横断歩道を渡る)

カ DVD

交通安全内容のDVD上映(歩行編・チャイルドシート編)



腹話術による交通安全教室

【保護者への交通安全教室】

ア 講話

保護者向け交通安全講話(子どもの特性、子ども事故の特徴、親としての取組み)、自転車の幼児用シート乗車時のヘルメット着用、送迎時の危険性、改正道路交通法等

イ 子どもの視野体験メガネ

保護者に姿勢や視界を変えてもらい、幼児の視野を体験



寸劇による交通安全教室

(2) 小学校・中学校 対象



【屋外での交通安全教室】

ア 衝突実験

時速 40Km 程度で走行する車とダミー人形を
衝突させる実験



衝突実験

イ 死角検証実験

トラックの、運転席からは見えない場所があること
を体験する死角検証実験

ウ 内輪差検証実験

トラックの左折時の巻き込み事故実験及び内輪差
検証



トラックを使用した死角及び内輪差検証実験

エ 自転車の正しい乗り方演習

自転車の交通ルール、見通しの悪いT字路交差点での
一時停止の必要性、道路での自転車走行時注意点確認、
模擬道路を使用しての自転車走行指導、ヘルメットの
必要性等

オ その他

自転車の点検、乗り方、交通ルール、事故事例、賠償責任、自転車損害賠償保険、法改
正に伴う事項

【屋内での交通安全教室】

ア 腹話術

交通ルール、道路の歩き方、横断歩道・信号機の渡り方、
法改正に伴う事項等

イ 自転車の正しい乗り方演習

自転車の点検整備、自転車の乗り方についてのポイント
説明(発進、停止の仕方など)

ウ 夜光反射材の必要性和視認性の実験

夜光反射材の普及促進



自転車の正しい乗り方演習

エ DVD

交通安全内容のDVD上映(歩行者編、自転車編)

オ 講話

自転車の点検、乗り方、交通ルール、事故事例、
賠償責任、自転車損害賠償保険、法改正に伴う事項等



自転車の交通ルールに関する DVD 上映

(3) 一般・高齢者 対象



【屋内での交通安全教室】

ア 腹話術

交通ルール、飲酒運転、夜間の事故防止、特殊詐欺、交通安全啓発用替え歌、法改正に伴う事項等

イ 寸劇

安全な歩行について、シートベルトの必要性、自転車の正しい乗り方、夜光反射材の普及促進、特殊詐欺、その他(脳トレ等)

ウ 講話

事故発生状況の説明(写真を見てもらい、残酷さを認識してもらう)、車及び自転車の運転手向けの講話、特殊詐欺、法改正に伴う事項等

エ 夜光反射材の普及促進

スコープライトを使った反射材効果体験及び反射材の効果的な着用方法

オ 交通安全体操

楽しく体を動かす運動

カ ハンドベル

ハンドベルの演奏(目で見える、耳で聞き、行動する)

コ 視認具

飲酒運転者の視認体験



交通安全についての寸劇



特殊詐欺についての寸劇



腹話術での交通安全教室

2 令和4年度の活動状況

1 交通安全教室の開催実績 (令和4年4月1日～令和5年3月31日分)

(1) 対象者別開催結果

対象者	回 数	受講者数
保 育 (幼 稚) 園	42 箇所	2,693 人
小 学 校	18 箇所	6,589 人
中 学 校	3 箇所	364 人
高 齢 者	24 箇所	825 人
そ の 他	2 箇所	60 人
合 計	89 箇所	10,531 人

(2) 地区別

対象者	回 数
北 信 地 区	16 箇所
東 信 地 区	47 箇所
中 信 地 区	25 箇所
南 信 地 区	1 箇所
合 計	89 箇所

(3) 月別

年 月	回 数
令和4年 4月	12 箇所
5月	15 箇所
6月	9 箇所
7月	7 箇所
8月	2 箇所
9月	7 箇所
10月	19 箇所
11月	11 箇所
12月	0 箇所
令和5年 1月	1 箇所
2月	5 箇所
3月	1 箇所
合 計	89 箇所



※新型コロナウイルスによるキャンセル 5 箇所

2 特別交通指導員等の出動状況

特別交通指導員 延べ 165 人

事務局職員 延べ 115 人 合計 280 名

3 令和5年度の開催予定

98箇所 (令和5年3月末日現在)

2 令和4年度の活動状況

1 交通安全教室の開催実績 (令和4年4月1日～令和5年3月31日分)

(1) 対象者別開催結果

対象者	回 数	受講者数
保 育 (幼 稚) 園	42 箇所	2,693 人
小 学 校	18 箇所	6,589 人
中 学 校	3 箇所	364 人
高 齢 者	24 箇所	825 人
そ の 他	2 箇所	60 人
合 計	89 箇所	10,531 人

(2) 地区別

対象者	回 数
北 信 地 区	16 箇所
東 信 地 区	47 箇所
中 信 地 区	25 箇所
南 信 地 区	1 箇所
合 計	89 箇所

(3) 月別

年 月	回 数
令和4年 4月	12 箇所
5月	15 箇所
6月	9 箇所
7月	7 箇所
8月	2 箇所
9月	7 箇所
10月	19 箇所
11月	11 箇所
12月	0 箇所
令和5年 1月	1 箇所
2月	5 箇所
3月	1 箇所
合 計	89 箇所



※新型コロナウイルスによるキャンセル 5 箇所

2 特別交通指導員等の出動状況

特別交通指導員 延べ 165 人

事務局職員 延べ 115 人 合計 280 名

3 令和5年度の開催予定

98箇所 (令和5年3月末日現在)

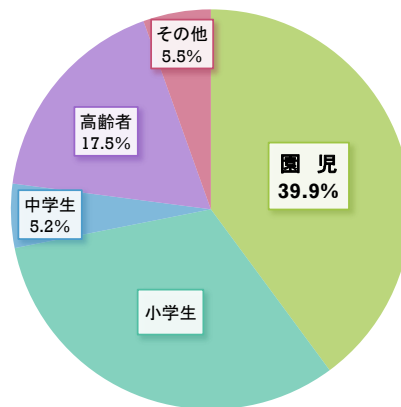
3 令和4年度の実施状況

※ 各表の通算回数は、平成4年からカウントした合計値です。

対象者別 開催回数

(単位 : 回)

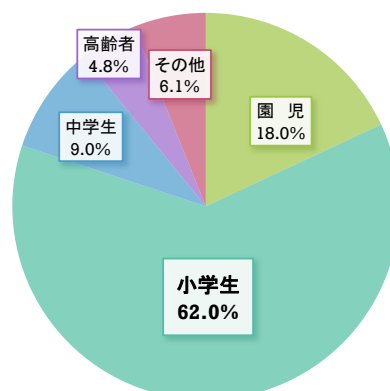
対 象	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	通算回数	構成比 %
園 児	23	28	27	29	39	33	35	17	34	42	532	39.9
小学生	15	11	15	19	15	18	13	8	24	18	427	32.0
中学生	3	5	4	2	2	3	2	1	4	3	69	5.2
高齢者	10	14	6	10	12	15	16	10	11	24	233	17.5
その他	5	5	0	4	2	4	5	0	2	2	73	5.5
合 計	56	63	52	64	70	73	71	36	75	89	1,334	



年別 受講者数

(単位 : 人)

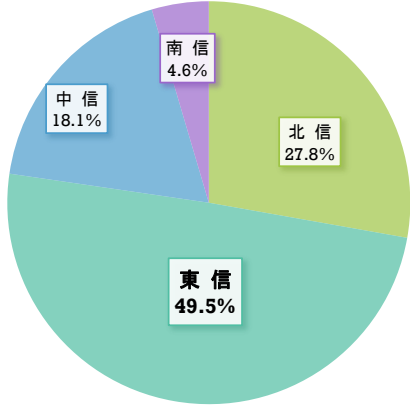
対 象	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	通算人数	構成比 %
園 児	2,058	2,221	2,040	2,538	3,540	3,669	2,794	1,402	2,147	2,693	51,604	18.0
小学生	6,023	4,152	5,828	6,297	5,120	5,466	5,413	2,802	7,790	6,589	177,393	62.0
中学生	1,235	1,464	1,782	1,174	1,170	1,440	645	97	599	364	25,785	9.0
高齢者	507	402	239	414	511	555	485	375	440	825	13,746	4.8
その他	680	595	0	500	47	140	330	0	63	60	17,377	6.1
合 計	10,503	8,834	9,889	10,923	10,388	11,270	9,667	4,676	11,039	10,531	285,905	



地区別 開催回数

(単位 : 回)

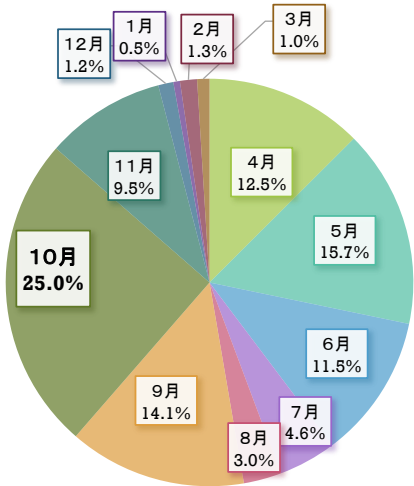
地 区	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	通算回数	構成比 %
北 信	10	12	12	12	8	15	7	3	16	16	371	27.8
東 信	32	35	32	42	44	39	40	21	43	47	661	49.6
中 信	13	15	8	10	13	13	17	12	14	25	242	18.1
南 信	1	1	0	0	5	6	7	1	2	1	61	4.6
合 計	56	63	52	64	70	73	71	36	75	89	1334	



月別 開催回数

(単位 : 回)

月	年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	通算回数	構成比 %
4月		6	8	6	7	9	9	9	0	10	12	167	12.5
5月		10	13	7	10	9	15	12	1	8	15	210	15.7
6月		10	9	7	9	13	4	7	1	11	9	153	11.5
7月		3	4	3	2	3	6	2	2	1	7	61	4.6
8月		1	2	2	4	1	3	2	3	4	2	40	3.0
9月		6	6	8	8	10	7	7	8	7	7	188	14.1
10月		12	16	15	16	15	17	16	14	17	19	334	25.0
11月		4	5	4	6	5	7	8	5	14	11	127	9.5
12月		1	0	0	0	0	1	4	1	3	0	16	1.2
1月		1	0	0	0	1	0	2	0	0	1	7	0.5
2月		0	0	0	1	1	4	2	0	0	5	18	1.3
3月		2	0	0	1	3	0	0	1	0	1	13	1.0
合計		56	63	52	64	70	73	71	36	75	89	1334	



4 令和4年度の交通安全教室受講者アンケート調査結果

はじめに

弊協会では、今後の安全教室をより効果的に実施するため、担当者の率直なご意見を聞かせていただく「交通安全教室受講者アンケート調査」を行いました。

以下にアンケートの一部を紹介いたします。

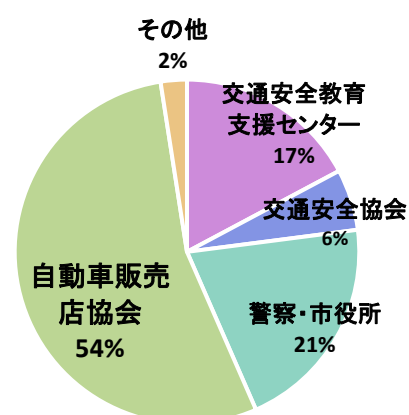


調査概要

調査の目的	交通安全教室において、指導内容の適否・改善点等を把握し、今後の教室をより効果的に行うため。
調査対象	学校長、園長、交通安全担当者
調査期間	令和4年4月～令和5年3月（交通安全教室終了時に配布）
有効回答数	79件/ 89件 有効回答総数 / 交通安全教室開催数

1)、今までの交通安全教育（教室）は何处の団体で、どのような内容で行っていましたか、お教え下さい。（複数回答あり）

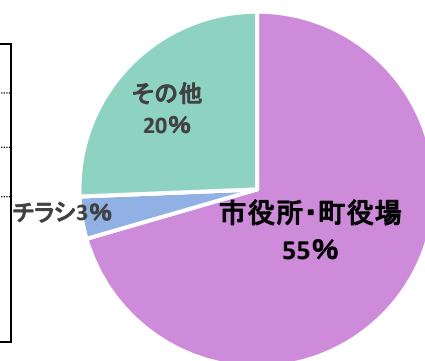
実施機関	件数	内 容
交通安全支援センター	21 件	歩行についてや自転車について、着ぐるみによる寸劇、腹話術、チャイルドシートの実験、高齢者の交通事故防止のポイント
交通安全協会	7 件	安全な歩き方や自転車の乗り方指導
警察・市役所	26 件	チャレンジ号体験、道路の渡り方、道路での安全な歩き方・自転車の安全な乗り方、DVD 上映、道路での横断実地指導、パワーポイントを使用した講話、ビンゴ
自動車販売店協会	66 件	衝突実験、死角実験、内輪差実験、安全な歩行の仕方、自転車の乗り方学習、チャイルドシートの実験、送迎時の駐車場での約束、着ぐるみによる寸劇、腹話術、サポカー体験
その他	3 件	



2)、当協会の交通安全についてお尋ねします。

① 当協会の交通安全教室を何処で知りましたか。

市役所・町役場	56件	(園、小学校、中学校、高齢者)
チラシ	3件	(園、高齢者)
知人	0件	
その他	20件	(園、小・中学校、高齢者) 昨年度実施したため、毎年お願いをしている、社協事務局、前任者からの引継ぎ



② 実施時間について、どのように感じましたか。

短い	0件	
やや短い	2件	(高齢者)
適当	72件	(園、小・中学校、高齢者、一般)
やや長い	4件	(園、高齢者)
長い	1件	(園)

③ 交通事故再現実験（衝突実験・死角検証実験・内輪差検証実験・チャイルドシート効果実験）について、どのように感じましたか。（実験を実施した施設による回答）

生徒（園児）達の安全教室に実験は早すぎる	0件	
生徒（園児）達の良い勉強になった	17件	(園、小・中学校)
生徒（園児）達にはもっとインパクトの強い方が良い	0件	

実験を実施した施設による意見・感想

対象施設	感 想
保育園 幼稚園	園児の目の前での衝突実験はショックが大きいのではと心配していたが、人形が飛ばされることなく倒れただけであったので、子どもたちも不安がることなく実験に集中することができた。また、話が端的でわかりやすかった。約束も「とまる」「みる」「まつ」と覚えやすく、イラストがあったので子どもたちも見ながら一緒に口に出して覚えることができた。
	死角の話は、とてもわかりやすく、子どもたちも車の後ろ・前・ドアの横は、車の人からは見えないのだと知ることができた。ただ、年少児には少し難しい部分もあったと感じた。
	実際の車を利用したの死角実験は、子どもたちに目で見てよくわかり良かった。
	チャイルドシートの実験は、チャイルドシートをしている時としていない時の差がよくわかり、チャイルドシートの大切さがよくわかった。

	チャイルドシートに座っていない時と座っていた時、車がぶつかってしまったらどうになってしまうのかを、実際に目で見て学ぶことができて良かった。 チャイルドシートがなぜ必要なのか、目で見てわかりやすかった。
小学校	衝突実験では、音や衝撃を子どもたち一人ひとりが感じとっていた。 目の前でダミー人形が撥ねられてしまうのは、ショックが大きい児童もいたが、交通事故の怖さがよく伝わったと思う。話の内容等も、わかりやすく伝えていただいた。 衝突実験は、車に当たった人形が、とても遠くまで飛ばされることに驚いた。児童にも、大切なたった一つの命を守ることの大切さが伝わったと思う。 40 ㎞のスピードでも、ダミー人形が 10 ㍎以上も飛ばされたり、トラックに巻き込まれる内輪差の巻き込み事故を見て、交通事故の怖さを実感することができた。 職員からも、「子どもたちが普段の歩き方や自転車の乗り方を振り返ることができて良かった。」「衝撃的ではあるが、事故の恐ろしさを身をもって感じることでできて良かった。」「配慮もされていて良かった。」と意見があった。 内輪差に加え、死角の話も知ることができて良かった。 内輪差の巻き込み事故は、体がトラックにつぶされて即死してしまうことがあると知り鳥肌が立った。今度からもっと交通ルールに気を付けて過ごしたい。
中学校	一時停止のあるＴ字路交差点での自転車の実演だったが、わかりやすい実演と解説であった。 「自転車に乗る時には、ヘルメットの着用や道路上の決まりを守りたい。」と、生徒から意見があった。

④ 腹話術または寸劇についてどのように感じましたか。感想をお聞かせください。
(腹話術・寸劇等を実施した施設による回答)

対象施設	感 想
保育園 幼稚園	腹話術を見ることが初めてという子も多い中、怖がる姿の子も見られたが、ルールについて学んだり歌を聴いたりし、だんだん楽しんで見ていた。 腹話術の人形のやりとりやイラストがあり、わかりやすく興味を持って話を聞いている子が多かった。年少には、少しテンポが早く感じた。 人形や腹話術によって興味に繋がり集中して聞くことができた。家で話をした子も多かった。内容もよく理解していた。 さっちゃん・けんちゃんのことを、園児同士で話したり、ジャンガ～と歌ったりしながら、大人も加わり、交通安全について振りかえりや確認

	ができた。 腹話術のクオリティが高く、子どもたちには新鮮でした。掛け合いも楽しかったが、おもしろさが先立ってしまい、交通ルールが記憶に残りにくい子もいたように感じた。 保育園の近くに横断歩道があり、実物と同じような歩行者用信号機を使った説明があって良かった。 モーちゃんと指導員さんのやり取りは、楽しみながら実際に手をあげたりしたことで、子どもたちの意識に繋がった。 子どもたちが楽しんで学べたと思う。着ぐるみの話し方や動き、手遊びなど楽しんでいた。 ミッキーとミニーのパペットを使い、道路の歩き方を教えていただいた。パペットに興味を持ち、集中して見ていた。 パペットを使用していたので、3才児にもわかりやすく、子どもたちが聞きやすいテンポ・話し方だった。内容も盛り込みすぎずちょうど良かった。正しい説明を伝える様子がとてもわかりやすく、一緒に渡る真似をしたり、参加したりして楽しく学んでいた。 子どもたちに直接関わるチャイルドシートや道路の横断方法等に特化した内容で、とても良かった。来年も是非お願いしたい。
小学校	入学したばかりの1年生も、抵抗なく学ばせていただいた。重要なポイントを絞っていただき、理解しやすかった。劇により、楽しく分かりやすく説明してくださり、改めて自分の横断の仕方について考えた。
高齢者	毎回、地区の皆さんの名前や店の名前を覚えて寸劇に活かしてくださるので、内容も身近に感じ、すんなりと心に入ってきた。 受講されたみなさん、劇や腹話術に引き込まれている感じがした。ハンドベルも良かった。交通事故や詐欺に、より注意してくださるようになると思う。 大人気の腹話術・寸劇は、毎回楽しみにされている方も多く、その地域の店や人の名前を出し注意喚起していく手法は素晴らしい。 寸劇では、交通ルールについて細かく状況を伝えてくださったので、一つひとつ理解できた。 寸劇の中での、歩行者用の青信号が点滅したら次の青まで待つ「心のゆとりと時間のゆとりを持ちましょう。」というのが、とても良い話だなと思った。

⑤ 受講者（生徒・高齢者）の反応はどうであったか、お聞かせください。

対象受講者	反 応
保育園 幼稚園	園のお散歩で横断歩道を渡る時に、「手をあげるんだよね。」などと子どもたちから声が上がった。 横断歩道を渡る練習では、右手をまっすぐあげ、右左や信号を見て渡ることを知り、確認しながら行うことができた。 降園時には、しっかりと保護者と手をつないで帰る姿が見られた。

	登降園時に、再度駐車場での約束を意識して来れる子が多かった。 降園時、いつも親と手をつながない子が、「あっ！」と言って、学んだことを思い出し、手をつないで車に乗るようになった。 交通安全教室後、子どもたちに車の人からはどこが見えないのかを問いかけてみると、「後ろ！前！あと横！」と、よく覚えており答える姿があった。 キーホルダーと保護者向けのチラシをいただき、キーホルダーのおみやげをきっかけに、家庭でも話をした子がいた。 キーホルダーを見て、「駐車場ではどうするんだっけ？」と、復讐できた子もいた。 毎年、キーホルダーを頂けるのですが、子どもたちも気に入っていて、通園カバンにつけてくるお子さんもいる。それを見ると、交通安全教室での話を思い出している。 親子で参加したことで、教室後、親子で歩いた際には、親子の共通認識になって良かった。 保護者にも参加してもらいましたが、保護者の方が、「思っていた以上にわかりやすく、楽しめました。」と言っていた。 保護者向けのお話は、子どもの視野について(両手でメガネを作って見る方法)実践があったことで、保護者の方も、「おへそまで左右向けるように教えなきゃ。」と、納得されていた。わかりやすくてとても良かった。
小学校	5.6 年は、何度も似たような内容を指導してきたが、「改めて気を付けたい。」「忘れないようにしたい。」等、日記に記していた。特に、自転車に普段から乗っている子や、中学から自転車通学になる児童が、改めて強く意識するきっかけになっていた。 準備の段階から、万全でやっていただき、わかりやすい説明で、とてもいい教室だった。子どもたちも、「自分の命は自分で守る」ということを再認識できたようだった。 「自転車のブレーキの握り方に気を付けたいと思った。」「罰金を支払わないためにルールを守るのではなく、事故を起こさないためにルールを守るということを思いながら、自転車に乗りたい。」と児童の感想にあった。
高齢者	腹話術で、孫が出てきた時は、涙が出てきそうになったと話される方もいた。 寸劇は、参加者のみなさん、引き込まれて楽しんでいた。腹話術も素晴らしかった。参加者の方が、帰りがけに、「すごくためになったので来てよかった。」とお声をいただいた。 毎回内容を変えてくださるので、毎回参加される方もマンネリを感じず、とても喜んでいる様子だった。 地域の情報も入って、身近な内容になり、良かった。ハンドベルの音に癒され、耳を澄ましながらかを口ずさむこともできて、皆さん楽しそうだった。

	参加者や役員からも、「腹話術が素晴らしかった。」とのお声がたくさん聞かれた。
	とても楽しく、盛りだくさんの内容で、みなさんとても良かったと仰っていた。

3)、当協会職員・指導員の対応（説明）についてお聞かせください。

良	い	76 件	（園、小・中学校、高齢者、一般）
普	通	2 件	（園）
悪	い	0 件	

4)、啓発品についてお聞かせください。

良	い	76 件	（園、小・中学校、高齢者、一般）
普	通	2 件	（園、小学校）
悪	い	0 件	

5)、その他、感想・要望等がございましたらお教えてください。

保育園 幼稚園	子どもたちへ伝えてほしい内容がたくさんある中で、「もう少し要点を絞って、短く簡潔にしていただけたらよかった。」と保育士から意見があった。
	子どもたちが楽しく学ぶように工夫をしていただき、ありがとうございます。ですが、子どもたちの中には、どうしても「おもしろい」に引っ張られすぎてしまう子もいて、「楽しく学ぶ」ということの難しさを感じた。
	室内でも、体を動かしてやってみるというような時間があると良いかと思った。
	年長児は、文字が読める子がいるので文字を見ながら約束を確認できるが、年少児には、イラスト付きの約束があればわかりやすいかと感じた。
	園への送迎時、なぜ大人と手をつないで歩かないといけないのか、イラスト等子どもたちが理解できるように話していただけるとありがたい。
	入園前の子どもが道路で起こりうる危険なこと（実際にあった事故や危険な場面など）が、ビデオなどの視覚的に見て意識できる内容の交通安全教室があるといいと思う。
	コロナ禍なので、保護者参加の安全教室ができないことが残念ではあるが、子どもたちに経験する機会があることはとっても大事なことになるので、今後も実施していきたい。
小学校	来年度は、衝突・死角・内輪差の屋外実験を見せていただきたい。
	雨の日の傘をさしての歩き方の話をに入れてほしい。
	低学年から高学年までの全員がわかりやすく、重要なポイントが

	何かまで子どもたちは理解し、屋外での歩行訓練を行うことができた。教えていただいたことを、クラスで振り返り、日常生活でも生かしていけるよう、学校でも取り組んでいきたい。
	晴れ案、雨案両方を提示していただき、臨機応変に対応いただけてありがたい。
	子どもたちの生活経験が乏しくなってきたことは以前から言われてきたことだが、その傾向はここ数年で更に進んでいると感じている。メディア等で知識は得ていても、体験していないので、実感が伴わなかったり、表面的で中身の薄いものになりがちである。こうした中で、今回の交通安全教室での事故の様子を目で見て、音を聞いて、実際に感じるということは、子どもたちにとって不足している体験を補ってくれる大変価値のある経験になったと思う。
高齢者	高齢者の免許返納について聞きたい。
	夜間の車内から見る歩行者や自転車の認識(見えにくいということ)について、高齢者にも若者にも伝えてほしい。
	詐欺の話は、毎回聞いていても騙される人がいるので他人事ではなく気を付けたい。詐欺に遭った人の話しや、未然に防ぐことができた人の体験談を聞きたい。
	高齢者の交通事故・特殊詐欺が連日報道されているが、自分に置きかえて考えてみることでできる良い機会となるので、今後も開催していきたい。
	地区の文化祭などの未就園児の親子が多く参加してくれるので、そんな時にもお願いしたい。



長野県自動車販売店協会は、交通事故の無い安全な車社会の実現を目指すため、高齢者、園児には「楽しみながら交通安全を学ぶ」小学生、中学生には「交通事故の怖さを体験してもらう」そして、「自分の命は自分で守る」をモットーに交通安全教室を開催しております。

いただいた要望・意見を参考に、今後も充実した交通安全教室を実施できるよう努力いたします。

